学校番号	１１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	『くせ字がなおるペン字練習帳』						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道の基礎的なことがらを学びます。
・古典や古筆の名品を鑑賞し、楷書・行書・平安朝の仮名に至るまで様々な書体を参考に硬筆で臨書し、書写の技能を向上させることを目標とします。
・古典の臨書で培った技法や知識を生かして創作を経験し、自分の書表現の幅を広げることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書道を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、筆ペンや硬筆を用いて効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、生活の中の書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

（３）主体的に実用書の幅広い活動に取り組み、生活の中で書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	筆記具の正しい使い方や生活の中で必要な書式を学習する。字形の特徴を理解し、表現するための知識や技術などを習得する。古典や古筆の鑑賞を通して、様々な表現方法を知る。	読みやすく美しい文字を書くための練習方法を工夫する。作品制作においては見通しを立て題材選定から構成まで、各自で考える姿勢を養う。筆ペン、ボールペン等を使用し、自らの構想に基づいてより良い表現方法を模索し、生活の中で役に立つ作品を創作する。	書写能力を高めるために、主体的に反復練習や字形の分析をしたりして、積極的に書写に対する姿勢を養う。文字を伝達手段としてだけでなく、自己表現する一つの手段としての自覚を持つと共に、文字を丁寧に書く姿勢を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	楷書の学習	「九成宮醴泉銘」 ・楷書の古典の概要を理解し、硬筆で用筆、運筆、字形の取り方などについて学ぶ。 『くせ字がなおるペン字練習帳』を使って楷書体のまとめをする。	a: 楷書の字形や用筆の特徴について理解している。 b: それぞれ字形や線質、点画などの特徴を把握して、練習する際に主体的に表現を工夫している。 c: 書き手による書風の違いに関心をもち､それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。	テスト 作品	ワーク シート	授業 観察 ワーク シート
	行書の学習	・楷書と比較して行書の主な特徴を理解する。 ・「蘭亭序」の鑑賞・臨書を通して硬筆で行書の用筆・運筆の技法を習得する。	a:行書を楷書と比較し､字形や用筆の特徴、特に点画の丸み、連続・省略などについて理解している。 b: それぞれの古典の書風、字形や線質、点画などの特徴を把握して、臨書する際に主体的に表現を工夫している。 c: 書き手による書風の違いに関心をもち､それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。	テスト 作品	ワーク シート	授業 観察 ワーク シート
		ペン字による漢字作品制作 ･漢字の学習を踏まえて､各自好きな書体で作品を制作する。	a: 書体に応じた字形や用筆の特徴について理解している。 b: 古典の書風を応用し、字形や線質、点画などの特徴を把握して、制作する際に主体的に表現を工夫している。 c: 作品の制作意図を主体的に言い表そうとしている。	作品	ワーク シート	授業 観察 ワーク シート
後期	漢字仮名交じりの学習	筆ペンによるハガキ作品創作 後期の目標などに適した言葉を考え、その言葉に適した書表現を考える。	a:筆ペンを使用した線の表現方法や流れを理解し､その書写技能を身に付けている。 b: 言葉に応じた書表現を考えて主体的な構想に基づく創造的な表現を追求している。 c: 筆ペンでの書の流麗さを出そうと試行錯誤を繰り返している。	作品	ワーク シート 題材	授業 観察 ワーク シート

	漢字仮名交じりの書	言葉と書の調和 ・学習してきた漢字と仮名を調和させて自分で考えた題材をペン字で作品制作する。	a: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 b: 各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。自分の作品について、創作意図や感想を文章でまとめている。 c:題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	作品	ワーク シート 題材	授業 観察 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度